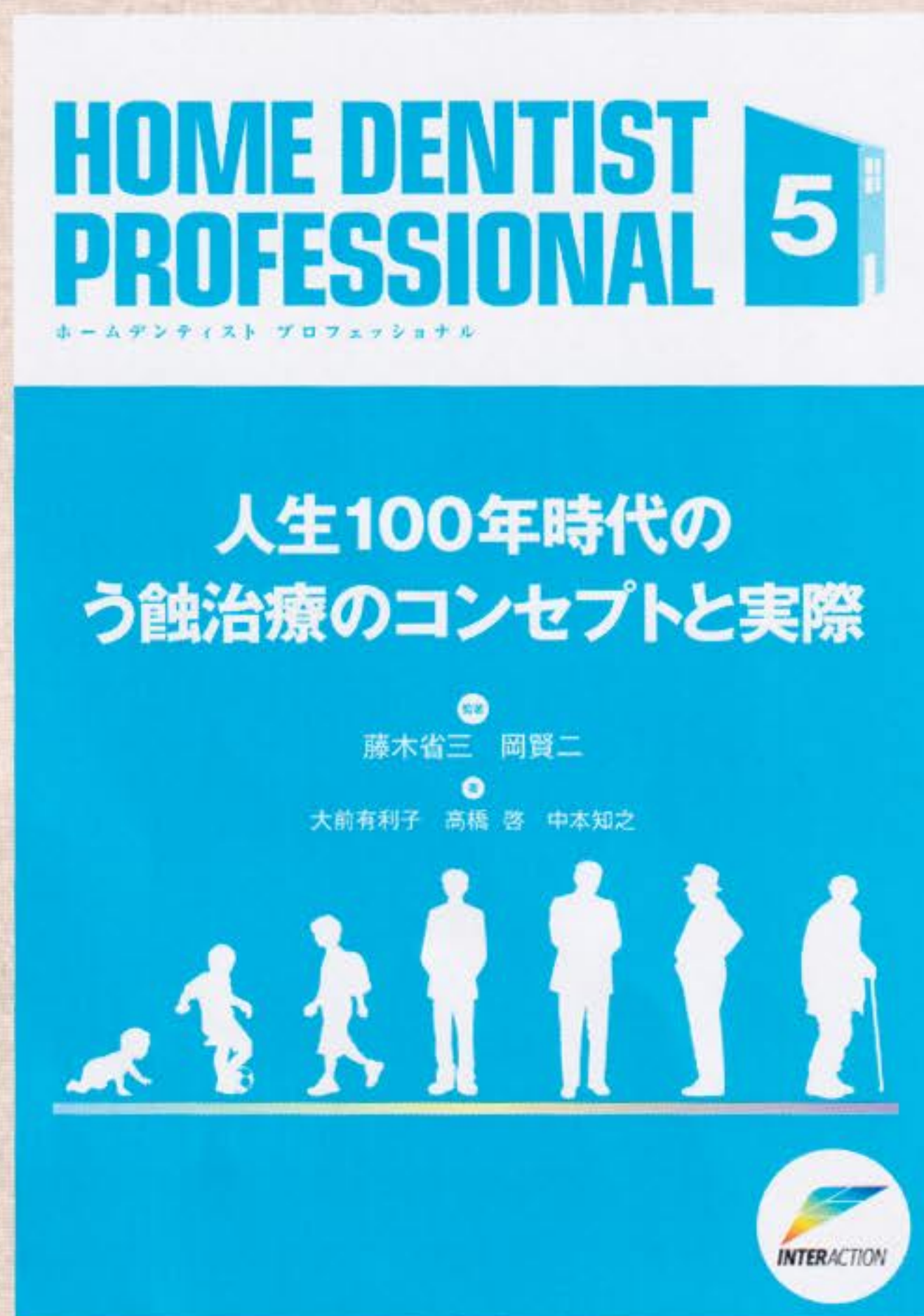


本シリーズのラストを飾る第5巻：う蝕予防の実践書 ついに完成!

人生 100 年時代の う蝕治療のコンセプトと実際



POINT

人生 100 年時代では、今まで歯がなくて当然だと思われていた 80 歳を超えた年齢でも自分の歯で快適な人生を過ごしていただくことが目標です。そのための第一段階が 20 歳までのう蝕予防です。本書では、修復処置を「ゼロ」にするための具体的な考え方と方法をまとめました。さらに、筆者らの 30 年に及ぶ長期の経過を注意深く観察すれば、う蝕と歯周病をコントロールしているにもかかわらず歯が壊れてくるケースがあることに気がつきます。ポストう蝕・歯周病の時代の注意点もわかりやすくまとめています。

監者 藤木省三 岡賢二

著者 大前有利子、高橋 啓、中本知之

A4 判、224 ページ 定価：13,200円（税込）

ISBN978-4-909066-50-3 C3047

CONTENTS

- | | | |
|--|--|---|
| <p>序
人生 100 年時代のホームデンティスト・プロフェッショナルの役割</p> <p>第 1 章
長期メンテナンスを受けている高齢者から見えてくること—いつまでも健康な歯で過ごす条件とは？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 長期メンテナンス患者のデータからわかることは？ 2 長期メンテナンス症例から見えてくる歯の喪失の原因 <p>第 2 章 う蝕から歯を守る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 う蝕から歯を守るために必要な「2 つのリスク」の捉え方 2 う蝕に関する様々な要因と発症のメカニズムを理解しておこう 3 歯と外界の環境（生活習慣）に関するリスクへの対応：CRASP に基づく指導 4 歯の局所因子によるリスクへの対応 | <ol style="list-style-type: none"> 5 ライフステージ別のう蝕リスクとその対応 6 患者さんに寄り添うう蝕予防 <p>第 3 章 人生 100 年時代の目標と問題点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小児期から 30 歳を超えるまで 2 30 歳から 50 歳を超えるまで 3 50 歳から 70 歳を超えるまで 4 80 歳を超えて 5 う蝕、歯周病以外の問題点 <p>第 4 章 ポストう蝕、歯周病時代の問題と対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯の破折、セメント質剥離という新たな問題に注目 2 どんな歯が破折するのか 3 その歯は歯根破折するのか、セメント質剥離するのか 4 破折する歯の前兆を知る 5 セメント質剥離する歯に見られる傾向を知る 6 セメント質剥離の特徴を知る 7 セメント質剥離 治療の可能性と対策を知る | <ol style="list-style-type: none"> 8 破折が起きるまでの機序を知る 9 破折の前兆を認めた時にはそれを回避するための指導を！（日中編） 10 破折の前兆を認めた時にはそれを回避するための指導を！（夜間編） 11 歯の破折やセメント質剥離の遠因になる不正な歯列・咬合にも着目 <p>第 5 章 エピソード</p> <p>「ホームデンティスト・プロフェッショナル」とは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホームデンティストだからこそできる「う蝕と歯周病を過去の病気へ」 2 ホームデンティストだからこそできる「家族単位の診療」 3 ホームデンティストは患者さんの健康を守る「要（かなめ）」 4 ホームデンティストだからこそ得られる記録 5 ホームデンティストでは歯科医師もスタッフも主役 6 ポストう蝕・歯周病時代のホームデンティスト 7 始めるのは、今！ |
|--|--|---|